

「議案第16号 平成25年度奈良市一般会計予算」等の
組み替えを求める動議

「議案第16号 平成25年度奈良市一般会計予算」及び「議案第19号 平成25年度奈良市国民健康保険特別会計予算」について、市長は別紙のとおり組み替えを行い、再提出されることを要求します。

平成25年3月22日

奈良市議会議長 土 田 敏 朗 様

提出者

奈良市議会議員 井 上 昌 弘

賛成者

奈良市議会議員 山 本 直 子

同 北 村 拓 哉

同 松 岡 克 彦

同 山 口 裕 司

同 西 本 守 直

(別紙)

景気や雇用の回復が実感できず、来年4月からの消費税増税を控えている中で、来年度予算では、下水道使用料金値上げなどの市民負担増政策が、市民生活の悪化にさらなる追い打ちをかけています。国民健康保険料や医療費の窓口負担、介護保険利用料などは、支払能力の限界を超え、必要な医療、介護が受けられないという市民が多数生まれています。そうした状況を改善し、市民負担の軽減を図り、市民が安心して生活できるようにすることこそ求められています。そうした努力を行わないまま、国保や後期高齢医療、介護の分野でいまでも滞納があれば正規の保険証が発行されないなどのペナルティがあるのに、さらに債権管理条例で保険料滞納に対してサラ金なみの一律14.6%もの延滞金を徴収し、差し押さえも辞さないなど強権的な徴収行政が進められようとしています。住民福祉の増進を責務とする地方自治体の姿とは相容れないものだと言わなければなりません。

一般会計から国保会計への繰り出しを増やし、せめて国保世帯に子どもがいる場合、子どもの人数分だけでも均等割り分を減免するなど、高すぎる国保料を引き下げるための対策を講じるべきです。また老人クラブへの助成も単価を減額せず、支援することが必要です。

また不況にあえぐ中小業者の強い期待と要望にこたえる形で、奈良県で2番目に住宅リフォーム助成制度ができ、年間1千万円の予算で2億8千万円の工事額に達し、大きな経済効果があることが2年間の実践で証明されました。来年度予算では廃止となっていますが、むしろ継続・拡充する必要があり、予算を組み替えるべきと考えます。

(1) 以下の内容で250,000千円減額する

1) 議会費のうち以下の内容で54,328千円減額する

①議会費のうち今期中(4月~7月)の議員報酬20%分、54,328千円

2) 総務費のうち以下の内容で110,537千円減額する

①戸籍住民基本台帳費のうち56,499千円

②総務管理費のうち徴税指導員の任期付職員給料38,000千円、
環境清美センターへの静脈認証による出退勤管理機器経費1,538千円、
人事評価経費2,500千円。

③企画費のうちリニア中央新幹線誘致経費12,000千円

3) 観光費のうち以下の内容で28,089千円減額する

①観光費のうち東京ガールズコレクション開催負担金10,000千円、

②東京観光オフィス事業委託料18,089千円

4) 土木費のうち以下の内容で40,000千円減額する

①道路橋梁総務費のうち街路灯LED化40,000千円

5) 教育費のうち以下の内容で17,046千円減額する

①幼稚園費のうち認定こども園にかかわる経費3,025千円

②教育総務費のうち学力・学習状況調査(学力テスト)委託経費14,021千円

(2) 以下の内容で250,000千円増額する

1) 民生費のうち以下の内容で240,000千円増額する

①社会福祉費のうち国民健康保険特別会計繰出経費(その他分)238,477千円

②老人福祉費のうち万年青年クラブ活動経費1,523千円

2) 商工費のうち以下の内容で10,000千円増額する

①商工費のうち住宅リフォーム助成制度10,000千円